

# 名古屋大学建築学科創設六〇周年記念事業趣意書

拝啓 さわやかな初夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、名古屋大学建築学科は、一九六三（昭和三八）年に創設され、今年で六〇周年を迎えることとなりました。この間、一九九六（平成八）年には、大学院重点化計画の実施に併せて学科内に建築学コース・社会資本工学コースを併設する社会環境工学科に移行しました。二〇〇一（平成一三）年には、文理融合の理念により大学院建築学専攻が工学研究科から新設の環境学研究科に移行しました。また、二〇一二（平成二四）年からは学科名を「環境土木・建築学科」とし、建築が再び表に出る名称に変更し、現在に至っています。この間、建築学教室の教員は、工学部や大学院環境学研究科の教育研究に従事するだけでなく、名古屋大学や二〇二〇年（令和二）設立の東海国立大学機構の運営にも協力してきました。それは、二〇一五年日本建築学会賞（業績）や第三一回地球環境大賞（二〇二三年）の受賞にも表れています。

一九六七（昭和四二）年に三九名の第一回卒業生を送り出してから今日までに、名古屋大学建築学科および建築学コース・プログラムは約二四〇〇名の人材を社会に送り出しました。同窓生には、受勲、日本建築学会賞等の受賞者も多く、建築界において着実に地歩を築いています。

六〇周年を迎えるに当たり、建築学教室と同窓生が相図り、建築学教室の歩みをふりかえると共に、将来への展望を考える機会といたしたく、次の事業を実施いたします。

## 一、記念行事

共通テーマ「まちづくりとひとづくり パート2―名大建築六〇年―

一、フィールドセミナー 「建築の魅力を伝える名古屋大学東山キャンパスの建物」

一、講演座談会 「建築の魅力を創ってきた名大建築六〇年」

## 一、記念式典

### 一、記念祝賀交流会

同窓生のほか、今日まで建築学教室を支えていただいた関係者の皆様にもご参加を呼びかけています。

### 一、記念誌の出版

五〇周年以後の一〇年間の建築学教室の歩みを記録し、今後の研究・教育方針を考えます。

## 一、記念企画

一、「わたしのしごと」展―同窓生もいろいろ

六〇周年を機に、多分野で活躍する同窓生の業績を集め、教室のホームページに掲載するとともに、記念式典当日、会場に展示します。

敬具

二〇二三年六月

名古屋大学建築学科創設六〇周年記念事業会

代表 森保宏